



学校だより

7月号

ふじのき

横浜市立藤の木小学校

校長 保科 桂子

令和8年6月30日

〒232-0061 横浜市区大岡四丁目10番1号 電話045-731-0606 FAX045-713-7916

学校教育目標

藤の学び合い 響き合い
一人一人を大切にしながら学び合う学校をめざします

世界が称賛した日本の『掃除』 ～自らを磨き、未来へつなぐ力～

校長 保科 桂子

子どもたちのアサガオや野菜がすくすくと育ち、夏のエネルギーが満ち溢れる季節となりました。日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

7月には、学校では夏休みを前に、普段行き届かない場所まで綺麗にする「大掃除」を行います。

日本の学校では当たり前のように行われている「掃除の時間」ですが、実は海外の教育関係者からは「なぜ子ども自身に掃除をさせるのか？」と驚かれることがよくあります。便利な掃除サービスもある現代、学校で掃除を行う意味は为什么呢。

サッカーのワールドカップ(W杯)の客席で、試合終了後に日本のサポーターたちが青いゴミ袋を手に、スタジアムのごみを黙々と拾い集めている様子が報道されました。勝敗に関わらず、他国のごみまで綺麗にして去っていくその姿は、世界中のメディアから「最高に美しいマナー」「これこそ日本の文化だ」と大絶賛されました。「よいことを積み重ねて、運も味方につけたい」という切なる思いがこめられているようにも感じます。

この素晴らしい大人の行動の原点は、どこにあるのでしょうか。それこそが、子ども時代に学校で毎日行ってきた「掃除の時間」にあります。私たちが学校で掃除を続けるのは、単に場所を綺麗にするためだけではなく、大人になっても生き続ける大切な心を育むためです。

「気づく力」と「感謝の心」を育てる…自分が使う場所を自らの手で整えることで、物や場所を大切にする心を育て、「使わせてくれてありがとう」という感謝の気持ちを表すことができます。

「やり抜く力」と「自立」を養う…「めんどくさい」「汚い」と思うことにも自ら向き合い、最後までやり遂げた後の「ピカピカになった!」という達成感は、子どもたちの自信につながります。自分の身の回りを整える力は、将来の自立に向けた大切な一歩です。

「協調性」を学ぶ…声を掛け合い、役割を分担しながら協力して綺麗にすることで、仲間を思いやる心や責任を果たす心が育まれます。また、「次に使う人が気持ちよく使えるように」という行動は、まさに「思いやりのリレー」ともいえるかもしれません。

ご家庭でも、この夏休みはぜひ、お子さんに掃除の役割を任せてみてはいかがでしょうか。「自分の部屋の机の上だけ」「玄関の靴並べ」「食卓の台ふき」「お風呂掃除」など、小さなことでも構いません。やり遂げたときには、ぜひたくさん褒めてほしいと思います。

子どもたちが元気に、そして清々しい気持ちで夏休みを迎えられるよう、教職員一同、最後まで一人ひとりに寄り添ってまいります。今月もどうぞよろしくお願いいたします。

お知らせ

7月5日(日)に、南公会堂で行われる「社会を明るくする運動 南区推進大会」に本校6年生有志が出演します。ぜひ見にいらしてください。